

令和元年5月定例記者会見要旨

開催日時 令和元年5月24日(金) 午前10時30分 市長応接室

(市長あいさつ)

おはようございます。5月も間もなく終わりますが、取材等ご協力いただきありがとうございます。

(6月の日程説明等)

○ 5月連休の観光動向

	令和元年度 (10日間)	平成30年度 (9日間)	平成29年度 (9日間)	平成28年度 (10日間)	対前年比(%) (1日あたり)
上諏訪温泉・諏訪湖 ※観光課集計数値	335,000人 (4/27～5/6)	309,000人 (4/28～5/6)	304,000人 (4/29～5/7)	331,000人 (4/29～5/8)	97.6
高島城 ※観光課集計数値	6,113人 (4/27～5/6)	4,525人 (4/28～5/6)	3,733人 (4/29～5/7)	4,727人 (4/29～5/8)	121.6
間欠泉センター ※観光課集計数値	9,665人 (4/27～5/6)	5,655人 (4/28～5/6)	6,227人 (4/29～5/7)	5,425人 (4/29～5/8)	153.8

○ 市議会6月定例会 招集日：6月10日(月)(会期・日程は6/6の議会運営委員会にて決定)

○ 令和2年度採用の職員採用試験 募集向けPR動画の制作・掲載について

6月3日(月) 午前11時00分 特別応接室

○ すわ大昔フォーラム in すわっチャオ 6月23日(日) 午後1時30分 すわっチャオ

○ すわっチャオ 利用者数

○ ゆう活の実施(7月～9月)

○ 霧ヶ峰廃屋解体工事及びガバメントクラウドファンディングの状況

○ 国道20号線赤羽根踏切工事

○ 未来共創セミナー(6/12)

○ 教育委員会関係6月行事予定

記者との質疑応答

○すわっチャオについて

(記者) すわっチャオが開館して一週間ほど経つが、来館者数とか反響とか感想も含めて市長の受け止めはどうか。

(市長) すわっチャオを見に行ってきたという報告をくださる市民もいらして、きれいで良い施設だと、それから高校生がずいぶんフリースペースを利用して、駅を利用する高校生の動線が変わってきたのではないかとというレポートをくださる方もおられました。多世代、多機能、多目的の利用を奨

めていますので、高校生やご高齢の方など多世代の方々が利用してくださることを期待していますし、歓迎します。すでにイベントの予約をしたとの声も届いています。たくさん使っていただくことが良いと思います。

(記者) 駐車場は課題だと思うが、駐車場の関係はどんな反響か。

(市長) 今まで3時間無料という状況が1時間になったので、そのギャップを感じる方たちはいらっしやると思います。その中でのスタートなので、使ってみていただいて、乗り合いで行くなど工夫をしていただいたりして、ご理解をいただければと思います。まだ始まったばかりの状況ですので、どんな意見が寄せられるか注目していきたいと思います。丸光が閉鎖するまでは、1時間無料というルールでした。丸光がなくなったことによって、周辺の商店街の皆さん等々、人が集まらなくなってしまったことへの憂慮などが背景にあって、3時間に延長してほしいという要望を受けて、市営駐車場が3時間無料になったと聞いています。その経過を踏まえますと、駅前の集客施設ができたので、そのことについては皆さんがもう少し馴染んでくるまで経過をみる必要があるだろうと思っています。皆さんにはいろいろな工夫をしながら使っていただくようお願いをしています。

(記者) すわっチャオの入館者数がオープンから6日間で7,613人だが、この数をどう見ているか。

(市長) 初日が3,000人、その後1,800人、1,000人を超え、お休みを挟んで800人、700人です。順調に皆さんの関心を寄せていただいていると捉えています。

(記者) 大体このくらいという想定だったのか。

(市長) 一週間ですので、短い期間の数字ではそれぞれ見に来たい方のご都合やご事情もあろうかと思えますし、もう少し長いスパンで見た方が良いのかなと思います。初日からたくさんの人に来ていただいた印象はあります。

○広域消防の出動体制について

(記者) 諏訪広域の関係になるが、茅野市で発生した過日の火事で消防の体制がどうだったのか。消防本部では最善を尽くしたとの報告だが、今後の体制等の構築に向けて課題を認識し、どのようにしていくのか伺いたい。

(市長) 消防長の命において検証したレポートは私のところにも届いています。当日は早朝に茅野市の別荘地で火災が発生し、そこには規定どおり出動しています。その後に高度救急の救急車が出動しています。それから、出動後のフォロー体制を規定どおり取っていましたが、もう1件、救急車が出動した後に、2ヶ所目の塚原の火災が発生するなど、火事が3ヶ所、救急車が2ヶ所出動という状態でした。消防職員の配置については、救急車両等に対して誰が対応するのか配属も決まっています。当直、常勤、フォローアップの待機職員を集めているわけです。規定に従った配備体制を取っていたということを消防長は述べたと思います。今ある仕組みの中で最善を尽くしたということですが、なお、今回の教訓を受けて更にバージョンアップする可能性はないだろうかという姿勢を持って、今後も研究を続けますという報告がありました。もし、茅野署だけで広域消防になっていなかった場合には、周辺市町村が個別に対応してバックアップ体制を取って行かなくてはならなかったことを思うと、広域消防であったために、そうした機能がすでにできていたので、最小限の被害でくい止められたのではないかと、もし、そうでなく茅野署だけだったらかなりきつい状況だったと思わ

れます。それでも、記者の皆さんから見て、ここが課題であるとか、もしそうしたご指摘があるのであれば、お寄せいただいて研究に加えさせていただきます。

(記者) この段階では最善を尽くし被害を最小限にできたとの考えか。

(市長) でき得る最善を尽くした結果ということで、捉えていただければと思います。

(記者) 多様な対応策を現地で考えることはあるのか。

(市長) 火災は生き物で、その時の風だとか、雨だとかいろんな状況によって変わると思います。あと、配備されている機材やそれを扱うスタッフの配置や人数の中で対応せざるを得ないと思いますので、その中で最善を尽くすということだろうと思います。災害について想定はありますが、実際の災害はいつどんな状況が起こるか分からないので、限られた資源を最大限に活用して最善のことができる体制を作ることだと思います。今回は、はしご車を出動しました。下からではなく、上空から俯瞰的に見て消火活動を指揮するのに効果があったと聞いています。

○副市長人事について

(記者) 副市長人事案件の議案を議会に提出する時期、見通しはどんなお考えか。

(市長) できるだけ早く提出できるようにしたいと思っています。

(記者) 6月議会定例会中か。

(市長) この段階では、決まっているわけではないので、決まったところでお知らせします。ご心配が過度にならないようにお願いします。人事案件ですのでしっかりと整ったところで発表いたします。空白期間ができてしまうことについては、周りの皆さんにご心配、ご迷惑をかけてしまい申し訳なく思います。庁内におきましては副市長、教育長と相談しながら進めておりますし、部長会議でも、空白の間はみんなの力を合わせて乗り切っていくことで同意されておりますのでよろしく申し上げます。そう遠くないうちに発表したいと思います。

(記者) 副市長の任期満了が29日だが、副市長再任の議案はないと見てよいのか。

(市長) そう遠くならないうちに議案を提出しますので、そのようにさせてください。人事のことなのでお願いします。

(記者) 副市長人事のことで当初5月27日に臨時議会が予定されていたが、見送りになった。27日に認められていた場合の副市長の就任はいつからなのか。

(市長) 27日の臨時議会でご承認いただけたら、30日から任期がスタートする予定でした。

(副市長) これで任期中では最後の記者会見になると思いますので、本当に4年間ありがとうございました。

29日には退任式がありますので、その時に改めてごあいさつさせていただきます。ありがとうございました。